

3カ月の受診の遅れが10年生存率に与える影響

	Age group (years)					
	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	≥80
Bladder	15.79%	14.95%	14.29%	15.48%	17.15%	17.03%
Brain	11.75%	14.15%	17.82%	18.24%	16.64%	16.70%
Breast	4.88%	3.27%	2.49%	2.14%	3.71%	7.70%
Cervix	5.59%	9.03%	12.20%	15.73%	17.98%	15.52%
Colorectal	10.22%	11.38%	10.82%	10.59%	13.10%	16.36%
Kidney	5.01%	6.50%	8.53%	10.53%	13.10%	17.41%
Larynx	11.07%	14.29%	13.45%	14.94%	15.86%	16.79%
Liver	16.68%	17.29%	16.17%	14.67%	11.89%	14.78%
Lung	16.87%	18.26%	16.80%	15.37%	11.78%	6.70%
Melanoma of skin	3.13%	3.96%	4.89%	5.66%	7.32%	12.56%
Oesophagus	16.85%	16.21%	16.12%	15.18%	12.28%	4.59%
Oral cavity	12.83%	16.98%	18.27%	18.28%	17.88%	16.62%
Oropharynx	11.79%	14.48%	16.77%	18.31%	17.08%	13.73%
Ovary	7.24%	13.87%	17.38%	18.28%	17.08%	15.86%
Pancreas	12.86%	11.76%	12.11%	9.00%	7.18%	10.74%
Prostate	0.68%	0.67%	0.32%	0%	0%	3.69%
Stomach	18.58%	18.54%	18.03%	17.34%	16.11%	8.85%
Testis	0.58%	0.36%	0.76%	0.35%	0.63%	1.62%
Thyroid	0.11%	0.63%	1.33%	0.22%	2.57%	0%
Uterus	2.43%	5.27%	6.04%	8.68%	11.83%	14.43%

コロナで医療費1兆円減

4〜7月 7%減 受診控え続く

治療遅れ重症化の恐れ

医療費が大きく減っている。4〜7月の医療費の総額は前年同期と比べ1兆円規模で減少した。新型コロナウイルス感染症に伴う患者の受診控えや病院の診療体制の縮小が原因だ。小児科の外来は3割減と大幅な落ち込みが続く。海外も同じ傾向だ。緊急性の低い医療が絞りこまれた一方で、治療の遅れによる重症化を指摘する声もある。

医療機関が公的医療を提供した際に発行する診療報酬明細書(レセプト)の統計を集計し、医療費の全体像を分析した。医科、歯科、調剤の患者負担も含めた医療費の4カ月間の総額は約14兆2千億円だった。前年同期は15兆3千億円で、医療費は1兆1千億円減った。減少幅は約7%だ。

4月は9%の減少、5月は12%の減少だった。院内感染を恐れた患者が通院を控えた。コロナ患者を入院治療する病院では他の患者の手術を延期

する対応をとっていた。緊急事態宣言が解除された6月になると医療費総額で前年比3%減となったが、感染が拡大した7月は5%減となった。

小児科は3割減

医科の医療費を入院と外来で分けると、入院は6%の減少。外来は10%の減少で、入院より外来の減少幅が大きい。

外来は診療科によって差が出ている。現役世代を主な対象とした7月のデータをみると、診療所の小児科は患者数、医療

英独米も同傾向

子どもの医療費を無償とする自治体は多く、これでは念のために医療機関を受診する患者も少なくなかった。法政大学の黒小正教授は「過剰な診療が減ったとみることもできる」と指摘する。

受診を我慢したり、手洗いやなどの徹底で感染症が減ったことも影響している

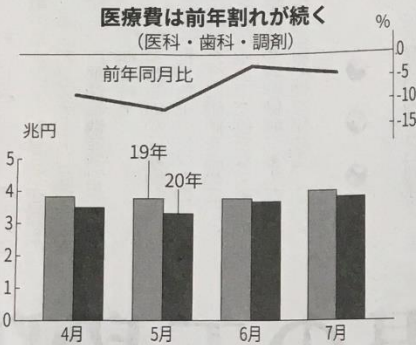
英独米も同傾向

病院経営支援のグローバルヘルスコンサルティング・ジャパン(東京・新宿)が重症患者を受け入れる全国417の病院を対象に調査したところ、「胃がん」で予定された入院は7月は前年同期比22%の減少となった。

病院側か患者側か、感染リスクを避けるために健

診や検査を先送りしている様子がうかがえる。英エコノミスト誌の調査部門のエコノミスト・インテリジェンス・ユニットは、日本のほか、英独米の2020年の医療費が19年比で減少すると予想する。英ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンでは新型コロナウイルスに伴う緊急事態ががん患者の死亡率に与える影響を分析。がんによる死者数が2割以上増える恐れがあると指摘した。約1万8千人の死者の増加につながる懸念があるという。

必要な治療や検査の先送りは健康への影響が大きいという。医療費の反動増を招くことも予想される。医療従事者への検査など院内感染を防ぐ対策を徹底するとともに、オンライン診療も活用して適切な医療につなげる取り組みが欠かせない。



(注) 社会保険診療報酬支払基金と国民健康保険中央会の統計を合算

	2019年	20	21
英	5.2%	▲2.8	3.5
独	3.0	▲1.6	4.5
米	4.1	▲1.0	3.8

(注) ▲はマイナス。現地通貨ベース (出所) エコノミスト・インテリジェンス・ユニット

確定申告

政府・与党検討

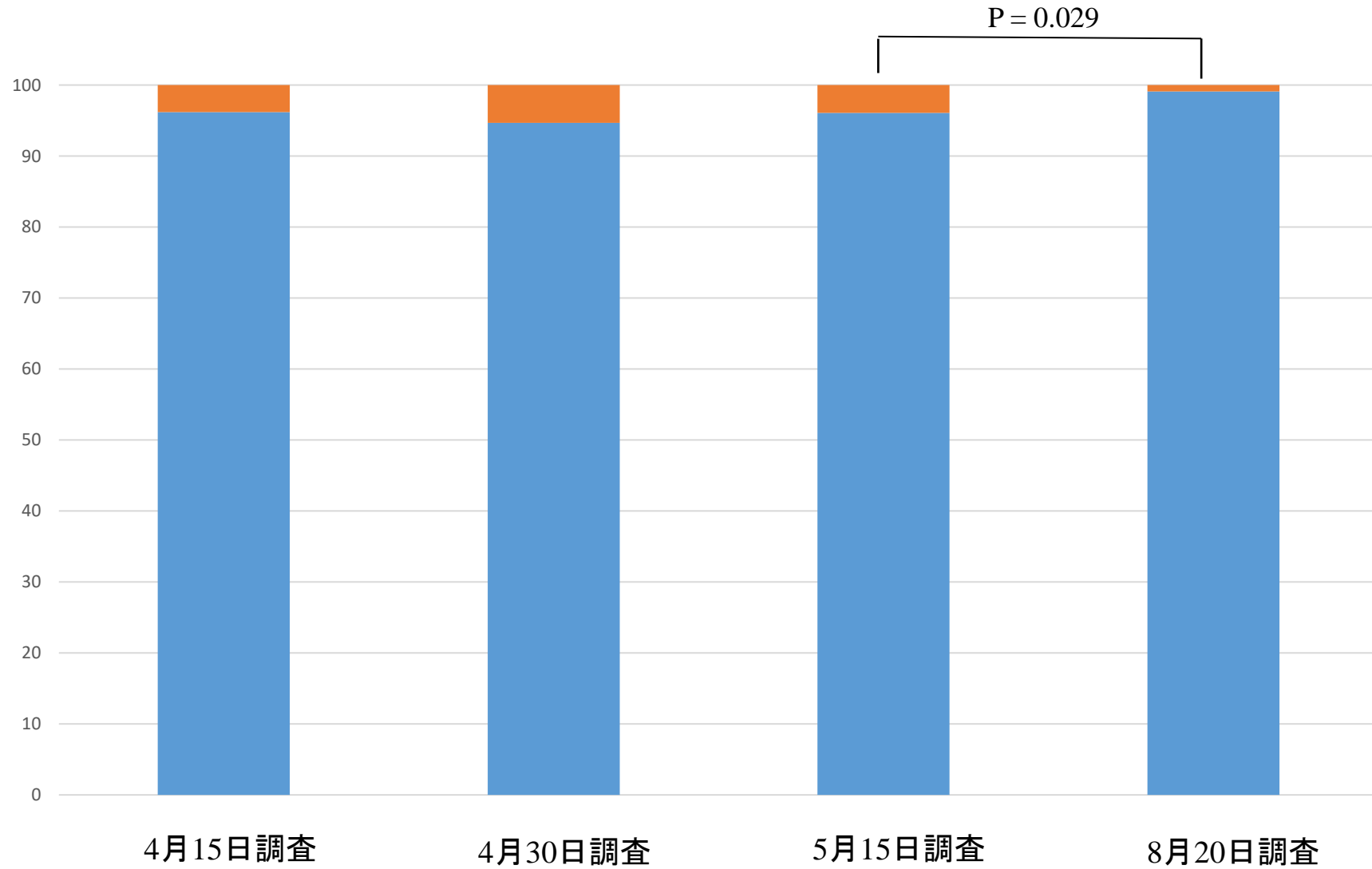
政府・与党は確定申告などの税務手続きで押印の原則廃止を検討する。2021年度の税制改正で検討し、年末にまとめる与党税制改正大綱に反映させる。新型コロナウイルス禍を受けて営業権が掲げる社会のデジタル化の一環。税に関わる他の書類でも「脱ハン

コ」を 加藤 日の記 体とし 止する 映さる 税者の から財 討して 現在

漁獲規制15種追加

STEMI治療について

通常通り 制限あり



2020年(COVID-19 pandemic下)の予後調査

- COVID-19流行化におけるPCIの現状と予後につき、将来のパンデミックや災害時などに備えるべく、現時代のレガシーとして施行することが重要と考えられる。救急医療のひっ迫や、D2B延長などが与えた影響を調査する必要がある

→2020年は集中して行うことが必要

- 2020年の予後調査を行い、AMED J-PCI f/u registryで行った2017年から2019年までのデータと比較可能である。

CCC [C VIT C linical research C onsortium]
運用について

石井秀樹(レジストリー実務小委員会 副委員長)

CCCのあらまし

- CVIT が【今後】主導する学術的な活動にご協力いただいた施設の労力に報いるための制度とお考え下さい。

ミシュランの「星」等をイメージしていただければ分かりやすいかと存じます。



CCC (CVIT Clinical research Consortium)



CCC (CVIT Clinical research Consortium)



CCC (CVIT Clinical research Consortium)

下記の三項目につき、ご協力いただいた数 によって付与させていただきます

- 今後の各種実態調査（ACS、保険、放射線被ばく）に全てご協力いただいたご施設
- COVIDアンケート調査に全てご回答いただいたご施設
- COVID pandemicの影響を調査する2020年PCI施行症例の長期予後登録（1年予後調査）登録にご協力を表明いただいたご施設
（レジストリー長期予後登録事業（AMED Project）にご参画いただいたご施設を含みます）

何卒よろしく願いいたします！